

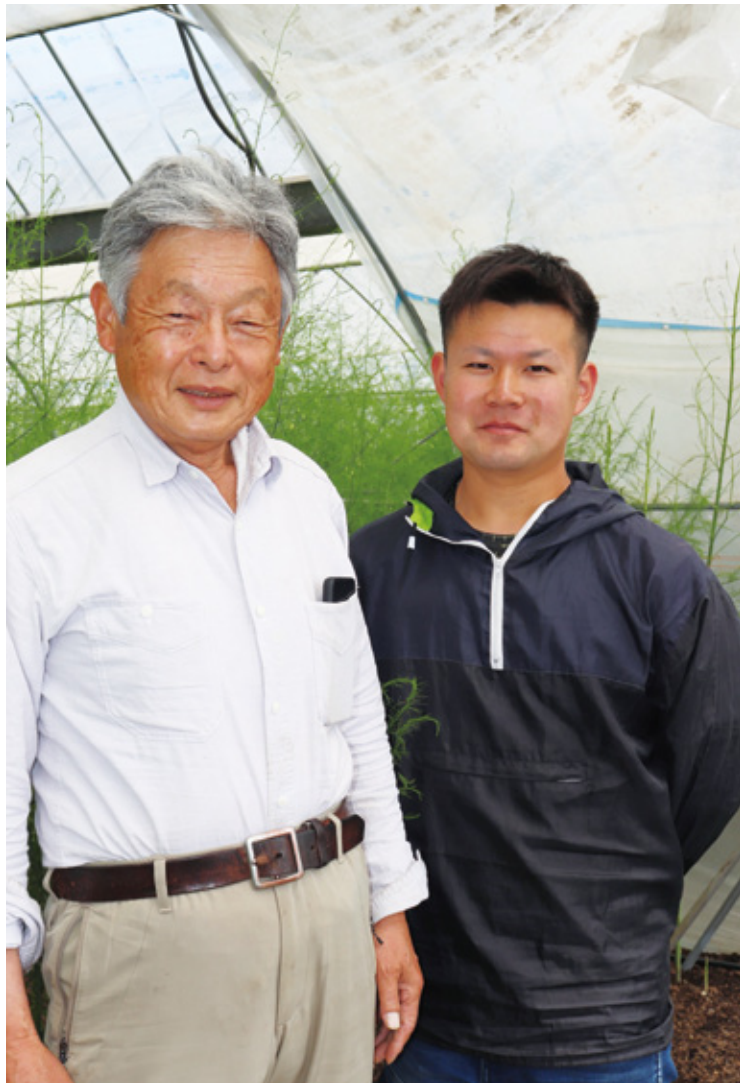


JAあそだより

令和5年6月



トマト新規就農者の山部優太さん(中央)と
先輩の田中耕次さん(右)、農業師匠の岩下繁成さん(左)



アスパラガス新規就農者の鳴瀬虎琉^{たけろ}さん(右)と
農業師匠の室治夫さん

■今号20ページ 主な内容

- 特集新規就農者『研修生の今』鳴瀬虎琉さん・山部優太さん
- 生産各部会の出荷・生育などの状況「小国郷だいこん」「ピーマン共同育苗」
- 組合員・利用者の皆様へ「肥料価格高騰対策申請のご案内」
- 購買部「各農機具・車輛センター所有の製品をカタログ化」
- 営農部「水稻除草剤の水口施用試験」実施
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.

今号も話題と情報を満載!!

JA阿蘇のホームページに
アクセスできます!



●/△ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

特集

新規就農者『研修生の今』 アスパラガスに向き合う鳴瀬虎琉さん⁽¹⁹⁾

祖父の「農業はいいぞ！」が心の中に
高卒後、農業師匠室治夫さんの研修生に



1日12時間アスパラガスと
黙々と向き合う鳴瀬さん

祖父、父の代と続いている板金工場の息子で、高校での専攻も機械科。農業との縁は全くなかった。そんな鳴瀬虎琉さんが農業を始めたきっかけは祖父の言葉だった。

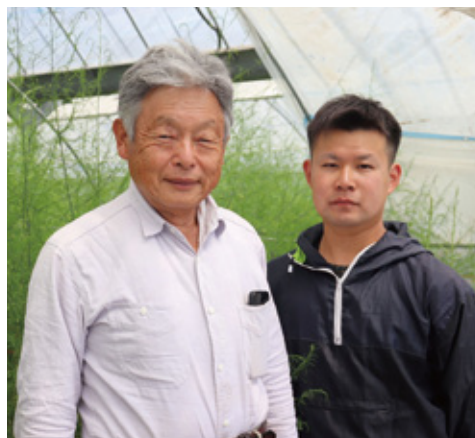
「農業はいいぞ、農業はいいぞ！」と言われ続け、自然とその言葉が心の中にあつた。

「体を動かすことが好きなので、将来は体を動かす仕事がしたいと考えていました」。

祖父の言葉がなければ、農業という選択肢はなかったという。家族に「農業がしたい」と伝えた時、特に驚かれず、すんなりと受け入れてくれた。鳴瀬さんの祖父と室治夫さんが同級生だという縁もあって高校3年生の夏休み、自分で室さんに連絡しアスパラガスの栽培体験に行った。

「日に日に育っていくアスパラガスを見ていて、その様子が楽しくなったので通いだしました」。

「夏休みの1回きりで止めるだろう」と考えていた室さんの予想を裏切り、冬休みも室さんの所へ



農業師匠である室治夫さん(左)と鳴瀬さん



生育状況をチェックする鳴瀬さん



収穫したアスパラガスを1本1本チェック

通った。そして高校卒業後、農業師匠である室さんの研修生となり、本格的に就農への道を歩み始めた。鳴瀬さんの1日は朝5時から始まる。収穫・箱詰め・出荷作業が終わると、昼までハウス内が冠水していかないかなど点検作業を行う。昼休憩後は除草作業。だいたい午後5時頃に作業が終わるそう。1日12時間、黙々とアスパラガスに向き合い続ける。

毎日どんな思いで働いているかと尋ねたところ、「室さんの毎日とはとても楽しいです。アスパラガスが真つすぐ立派に育ってくれた時が一番うれしい。1本1本違うから、それがすごく面白いです」。

師匠である室さんはアスパラガス栽培についてこう語る。

「アスパラガスを一作物でしか見ないとそれまでもだが、1本の親ごとに一族と思いきや、グッと面白くなる。立派に真つすぐ育つ息子、少し反抗して曲がっている息子…。いろいろなアスパラガスがいて、本当に人間と同じですよ。愛情を惜しみなく注ぐと必ず応えてくれる。病気や害

虫のせいで早死にするような不幸な苗が生まれないよう、毎日細心の注意を払い育てています」。鳴瀬さんに対しては「本当にいい若者ですよ。やつぱり来てくれると嬉しい。元野球部で体力もあり頼りになります。毎日コツコツと頑張っている」と信頼を寄せていた。

鳴瀬さんは来年から、いくつかのハウスを受け持ち独立する。

「独立後も安定してやっていけるように頑張りたいです」と簡潔ながらも、真面目な表情で意気込みを語ってくれた。



室さんおすすめの一品は、かき揚げとホルモンを焼いた後のたれにアスパラガスを絡めて炒める料理



特集

新規就農者『研修生の今』 トマトと共に成長する山部優太さん(20)

祖父「トマトなら岩下繁成さんの指導を！」
夢は「トマト部会トップ10」の稼ぎ頭



独立に備え約1000本のトマト苗を育てている山部さん

山部優太さんは、阿蘇市黒流町にハウスを構えるトマト栽培歴47年の大ベテラン、岩下繁成さんの元でトマト栽培を学んでいる。山部さんは阿蘇市内牧で育ち、祖父が米農家。そんな祖父の背中を見て、幼い頃から農業に関わる仕事に就くことを夢見ていた。ただし、祖父の道をそのまま継ぐのではなく自分は別の作物、阿蘇で盛んに栽培されている物を育てたいと考え、高校生の時、トマトに目を付けた。

高校卒業後、熊本県立農業大学校へ進学。プロジェクトではトマトを選択。「自分は将来トマトを育てたい」と、大学時代は自分ひとりでハウストマトを栽培しその決意は確たるものとなった。トマト農家としての独立を見据え、より実践的に学びたい思いが募ってゆく。そんな時、祖父から「トマトなら岩下繁成さんの指導を受けた方が良い」と紹介してもらい、農業師匠の受付窓口で「岩下さんの元で研修したい」と希望を出した。

当時のことを振り返り、岩下さんは「最初は断りました。研修生は受け入れたことがなく、教え

ることに對して不安だったので。でも、彼のおじいさんの頼みを2回、3回も断るわけにはいかないし、とにかく自分で体験して、分らないことは聞いてくれるなら良いかなと思ひ受け入れました」。

師匠の岩下さんとの営農の日々について、山部さんは「楽しいです。岩下さんだけでなく、他の農家さんもお話に来てくれるから勉強になります。トマトを選んで良かったです」と笑顔で語る。取材の途中、共に岩下さんのハウスでトマトを育てる先輩の田中耕次さんに「ちょっと教えることがある」と呼ばれ、すぐに田中さんの元へ駆けつけた。なんとも真面目で勤勉な好青年である。

「ああいう風に真面目できちんと学んでくれるから良い」と岩下さんも誇らしげだ。



写真上＝師匠の岩下さん(右)との雑談からも学ぶことが多い／写真右上＝岩下さんから指導を受ける山部さん／写真右＝左から岩下さん、山部さん、先輩の田中さん



「トマトはまだ緑色（取材時）だが、ここから徐々に赤く実る。4月5日に定植し収穫は6月5日。出荷する時、まだ緑が目立つが店に出す頃は赤くなる。トマト栽培は温度調節が非常に難しく、病気も、そして自然災害も怖い。けれど、トマトは驚くべき速度で成長する。今はまだ小さいなと思っただけでも3、4日もすると『うわ！大きくなった！』となる。小さなトマトから、日ごとに大きなトマトへと成長していく喜びが大きい」と岩下さんは話す。

現在は他のハウスでも若い人が増えており、若い人も含めて生産者は150人を維持している。

「今は田中さんとか若い人が本当にしっかりとやってくれているから、逆に自分が怒られることのほうが多い。(笑)『そこは自分でやるから、やらんでください！』って具合に。もう自分ができることは『分らん』と言われた質問に答えるくらいしかない。トマト栽培は毎年違い、今日までいろいろなのがあった。他のハウスだろうと関係なくお互い教え合い、良い刺激になっている」。

山部さんは来年の独立に備え、すでに自分一人のハウス2棟分、約千本のトマト苗を育てている。そんな山部さんに今後の目標を聞いた。

「日々勉強を続け、いつかは岩下さんを超えて、『トマト部会トップ10』の稼ぎ頭に入れるようになりたい」。本人も大口を叩きすぎていないか心配する様子だったが、師匠の岩下さんは「目標は大きくても良い」と笑顔だ。

「トマトも成長する。自分自身もトマトと共に成長して、たくさん経験を積んでほしいです」と、岩下さんは山部さんに期待を寄せていた。

小国郷だいこん初競り

1本200円と高値でスタート



4月20日、福岡大同青果で小国郷だいこんの初競りが行われました。初競りでは1本200円と高値での取引となり、弾みのついた出荷スタートとなりました。

この初競りにはJA阿蘇から渋谷淳小国郷中央支所長・大塚孝政営農センター長、同園芸課の波多野勝郎職員が立ち合い、競りに参加した仲卸業者に小国ジャージーヨーグルトが振る舞われました。

小国郷だいこん部会は本年13名の生産者で4月下旬から12月上旬までの出荷を計画しています。標高1000m地点での高冷地栽培の小国郷

だいこんは、夏から秋にかけ出荷の本番を迎え、特に夏の間、九州内に出回るだいこんのほとんどは小国郷で作られています。

初競りに立ち会った大塚センター長は「複数の他地域からだいこんが持ち込まれていたが、JA阿蘇の品質が一番良かったと感じた。小国郷産のだいこんは自信をもっておすすめできるので、消費者はぜひ手に取って買ってほしい」とPRしていました。



写真はいずれも福岡大同青果での初競りの様子



蘇陽地区でピーマン共同育苗開始

JA阿蘇ピーマン部会

高森地区と露地栽培主体の蘇陽地区で構成しているJA阿蘇ピーマン部会は、4月中旬から蘇陽地区で2023年産の共同育苗を始めました。共同で育苗する8戸の生産者が購入セトル苗約1万3000本の鉢上げ作業を行いました。

同部会では品種（さらら）統一をすることで販売量の確保や有利販売に繋げています。また、作付け前の土壌分析で必要な施肥量を算

出することで低コスト栽培を実践しています。

蘇陽地区では、過去に定植直後の晩霜被害を受けたため、特に時期を見極めて育苗作業をしています。

担当の古庄範寛職員は「育苗中の温度管理や灌水作業が苗の出来具合に大きく影響するため、天候の変化に合わせて細かい管理を心掛けたい」と、留意点を話していました。

定植最盛期は5月中旬にピークを迎えました。

鉢上げ作業をする生産者
(4月28日撮影)



『組合員・利用者の皆様へ』 肥料価格高騰対策申請のご案内

組合員・利用者の皆さまに於かれましては、日頃よりJA事業にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今回利用者の皆様にご案内いたします内容は、『肥料価格高騰対策』春肥支援になります。

具体的な内容としては、当、JA阿蘇より令和4年11月1日～令和5年5月31日の期間にご購入頂いた肥料（肥料法に基づく肥料）を対象とした国及び県の事業となります。購入実績の取り纏めはJAにて行います。

利用者の皆様の申請手順として、ご利用いただいた利用者氏名の記入及び捺印、交付金を振り込むJA阿蘇の口座番号のご記入となります。但し、国の事業が基本となる為、自助努力として化学肥料低減に向けた二つの取り組みが必要となります。（15項目メニューからの選択）詳しい内容は各購買店舗にて受付の際にご確認お願い致します。

尚、先般の通知文にてご案内しております通り、**申請手続きには申込期限が御座います**。申請漏れが無い様、早めの申請をお願い致します。

【問い合わせ先】

阿蘇農業協同組合 購買部 購買課 TEL 0967-22-6125

または、各JA阿蘇購買店舗におたずねください。



肥料価格高騰対策のごあんない

～肥料価格高騰に直面する農家の皆様を支援します～



肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の皆様の肥料費を支援します。



支援の対象となる肥料

令和4年6月から令和5年5月に購入した肥料(昨年の秋肥と本年の春肥として使用する肥料)が対象です。

支援の内容

化学肥料低減の取組を行った上で前年度から増加した肥料費について、その85%(国支援分70%及び県支援分15%)を支援金として交付します。

支援金 =

$$\left(\text{当年の肥料費} - \left(\frac{\text{当年の肥料費}}{\text{価格上昇率}} \div \text{使用量低減率} \right) \right) \times 0.85$$

秋肥も
春肥も1.4
0.9

申請に必要なもの

次の2つがあれば申請できます。

- ① 昨年秋肥(令和4年6月～10月に注文)、本年春肥(令和4年11月～令和5年5月に注文)の購入価格がわかるもの(注文票など)
{ 昨年秋肥と本年春肥は、それぞれの注文票等をまとめて、別々に提出してください。
 注文票のほか、領収書または請求書が必要です。
- ② 化学肥料低減に向けた取組に2つ以上取り組むこと
 (15項目の取組メニューから選択して申告していただきます。)

7ページを参照



農業者の皆様に記入いただくもの



化学肥料低減計画書

「令和4年度又は令和5年度の取組」欄のうち、
取り組めるものに○を記入してください。

- ・ 2つ以上に○が付けばOKです。
- ・ これまで既に取り組んでいるものもカウント
できます(その場合、1つ以上は、**新しい取組**
または**従来の取組の強化・拡大**(「◎」で記入)
を含むようにしてください。)

作付概要	
作物名	作付面積(ha)
〇〇〇	
〇〇〇	
その他	
計	

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、**新しい取組**、**従来の取組の強化・拡大**(「◎」で記入)を含むようにしてください。

15項目の取組メニューから選びます

	前年度までの 取組	令和4年度又は 令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計	○	◎



申請方法

農業者グループで申請してください。

〔5戸以上のグループで申請してください。農協や肥料販売店などでまとめ
てグループ申請していただくことを想定しています。〕

● 提出書類について

詳細は、熊本県の肥料価格高騰対策ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/74/150350.html>



肥料価格高騰対策事業
ホームページ

● 書類の提出先・提出方法

〒862-0950 熊本市中央区水前寺6丁目18-1 熊本県庁内郵便局留
肥料価格高騰対策事業サポートセンター宛てに、郵送で提出して下さい。

スケジュール

- ・ 5月17日まで：県協議会への令和5年度(1回目)の申請期限
 - ・ 6月末ごろ：農業者グループへの支援金の交付(1回目)
- ※2回目の申請スケジュールは、おってお知らせします。

問い合わせ先

本事業に申請したい方は、肥料を購入した農協や販売店等におたずね下さい。
その他事業に関しては、以下の問い合わせ先におたずねください。

■ 事業全般に関すること

各地域の県農業普及・振興課または県庁農業技術課 TEL：096-333-2381

■ 書類の内容・申請方法に関すること

肥料価格高騰対策事業サポートセンター TEL：096-213-6531

令和5年度 J A阿蘇 資材等価格高騰対策の実施について (お知らせ)

利用者みなさまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和4年度 J A阿蘇資材等価格においては、新型コロナウイルス感染拡大・ロシアによるウクライナ侵攻・急激な円安等の影響を受け原材料価格の上昇による供給価格の大幅な値上げとなりました。

特に、肥料・飼料においては原材料不足もあり値上げ幅が大きく農業経営に影響を与えている中、肥料の早期買入等により供給価格の抑制を行ってきました。又、国並びに県の肥料価格高騰緊急支援事業にも取り組み令和4年秋肥においては17,920,900円の支援金申請のお手伝いを行い、今後春肥についても申請予定です。

J A阿蘇としても利用者に対し、何らかの支援が出来ないかと、検討してまいりました。利用高配当等も検討致しましたが、国の事業と重複して J Aの助成が出来ないため、令和5年度において肥料・飼料価格について下記の通り手数料の抑制を行い供給価格の低減により、組合員の皆様への負託に応えてまいります。

— 記 —

手数料抑制品目	肥料・飼料
手数料抑制期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
手数料抑制率	肥料 ▲2.0% 飼料 ▲0.5%

【問い合わせ先】

阿蘇農業協同組合 購買部 購買課 TEL 0967-22-6125

または、各 J A阿蘇購買店舗におたずねください。



資材等の配送準備をする職員

底したい」としています。

J A阿蘇購買部では「コロナ禍や国際情勢の影響で原材料不足などを発端にした肥料・資材価格の高騰が続く中で、生産への影響を少しでも軽減し、安心した営農継続の一助として活用して欲しい。この J A阿蘇独自の高騰化対策は始まったばかりなので、たくさんの組合員に利用してもらえよう周知を徹底したい」としています。

J A阿蘇では引き続き、春肥の注文に向けた利用者への周知・申請についても支援をしています。

J A阿蘇では同取り組みと併せて、国の肥料高騰化対策の周知にも力を入れており、秋肥の注文では1300人を超える利用者から申請がありました。

J A阿蘇では引き続き、春肥の注文に向けた利用者への周知・申請についても支援をしています。

来年（2024年）3月31日まで実施します。

J A阿蘇は2023年4月から肥料価格高騰化対策として独自の「J A阿蘇資材高騰対策」を実施中です。この取り組みは国の肥料価格高騰対策と同調しながら行っており、肥料など購入時の手数料率を肥料価格の2.0%、飼料価格の0.5%軽減しています。手数料率軽減の対象は肥料・飼料2種類で、

J A阿蘇独自の資材高騰化対策
肥料など購入時手数料率を軽減

2024年
3月末まで実施！

購買部全体会議開く 今年度「気持ちの良い挨拶と垣根を越えた連携強化を」



原山組合長が激励
「気持ちの良い挨拶の徹底を！」

「おはようございます！」

令和5年4月22日土曜日、JA阿蘇購買部全体会議開催を前に原山組合長の声が会議室に響き、挨拶の手法を自ら率先して示しました。

その後、朝礼での「三連呼」や会議での「S接客五大用語」が形骸化している現状に対して、今回の購買部全体会議では、組合長自身がこれまでトップセールスで訪れた先で経験した模範となる事例や会議の進め方などを紹介し、「利用者に気持ちよく来店いただき、また来ていただけるように気持ちの良い挨拶の徹底を心がけてほしい」と述べました。

さらに続けて、「今回会議に参加した購買職員をはじめ、職員一人一人の気持ちが始まり、同じ方向を向くと良い兆しが見え始める。令和5年度は購買部、営農部が垣根を超えた連携強化と更なる努力に期待している」と締めくくりました。



購買部が新たな取り組み
各農機・車輛センター保有の機具を
「カタログ化」して情報発信

4月22日に開催されたJA阿蘇購買部全体会議の中で、購買部より新たな取り組みとして各農機具・車輛センターで保有・管理している本機や農機具類をカタログ化して、利用者・組合員へ既に情報発信していることが報告されました。

各農機具・車輛センター保有・管理の本機や農機具類のカタログ化は、それらの機器類を必要としている利用者・組合員の閲覧の機会が増えるとともに、流通が円滑に行えることにも繋がるのではないかと大きな期待が寄せられています。

今回、作成された各農機・車輛などの製品カタログ（次ページに掲載）には、機具の写真とともに区分・メーカー名・機械名・型式製造番号・販売開始時期などが細かく表示されています。

カタログは、各農機具・車輛センター、ガソリンスタンド、購買店舗に配置しており、自由に閲覧できます。（写真上は購買部全体会議の様子）



購買部で作成された各農機具・車輛センター保有・管理の本機や農機具類のカタログ

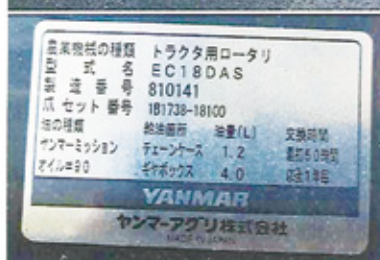
JA阿蘇 中古農機具 ご紹介

早い者勝ちだよ！

お問い合わせ先

小国郷農機具センター 0967-46-5200
 一の宮農機具センター 0967-22-3855
 阿蘇町農機具センター 0967-32-3604
 西原農機車輛センター 096-279-2223
 南部農機車輛センター 0967-62-0282
 蘇 陽農機具センター 0967-83-0534

番号	該当センター	新品中古区分	メーカー名	機名	型式 製造番号	販売開始 時期	販売終了 時期	納品日	卸部価格	販売価格	備 考
1	南部	中古	ヤンマー	トラクター用 ロータリ	EC18DAS 810141	2021年	現在も 販売中	メーカー出荷 2022年4月12 日 5月納品		要相談	





水田用自動給水機「アクアポート」 水稲除草剤の水口施用試験を実施

Ⅱ JA阿蘇営農部 Ⅱ

JA阿蘇営農部は5月10日、管内法人の圃場で水田用自動給水機（アクアポート＝Aquaport）を活用した水稲除草剤の水口施用試験を実施しました。

管内の営農法人では離農者や作業委託の増加により、水田の管理作業負担が増加しています。田植後の除草剤散布作業においても労力の軽減が課題となっており、除草効果の安定化を目指す自動給水機による作

業の省力化に大きな関心が寄せられています。

今回は豆つぶ剤を用いて実施されました。

水口施用における薬剤の拡散性については、散布72時間後に圃場全体で均一に拡がるため、散布後7日間は水管理の徹底が必要とされています。

今回用いられた自動給水機は、水位を感知し給水と止水を自動で行い労力を軽減したうえで徹底した水管理が可能になるため、しっかりとした除草剤の処理層を構築でき、除草効果の安定化が見込まれています。また、労力面においても試験区と

慣行区を設定し、約30aにおける散布所要時間を計測しました。その比較結果、水口施用Ⅱ6秒、ドローン散布Ⅱ3分、ひしゃく散布Ⅱ6分23秒という数値が出ました。

労働力軽減と 管理効率化見込める！

農事組合法人水穂やまだ代表の中西洋介さんは「200筆近くある圃場の管理作業はとも時間がかかるが、阿蘇ブランドのお米を出荷していくには必要不可欠な作業になる。今回の結果を得て、労働力や作業量の軽減や管理作業の効率化が見込め

るため、他の圃場でも実施していきたい」と期待を寄せていました。今後、JA阿蘇としても試験区の雑草調査や収量調査を実施していき、管内における農産物の品質向上・農作業の労働力軽減を目指していきます。



メーカーの担当者から自動給水機の説明を受ける
高津さん(左)と中西さん(右)



自動給水機を用いた水口施用の様子(中西さん)

かぶと

「兜をかぶってはいち〜ズ！」女性部 外国人実習生と研修会♡

JA阿蘇女性部主催による外国人実習生との研修会が5月12日行われました。今回で6回目の開催となります。今回は研修生103人と女性部役員・事務員15人が参加して、古新聞紙やチラシを活用した兜やごみ箱作り、二人羽織やお楽しみ抽選会などを行いました。

兜作りでは女性部と職員が講師となり、研修生に新聞紙を使った兜の折り方を教えました。研修生らは完成し

た兜を手に写真撮影などをして楽しんでいました。

今回の研修会について、女性部副部長の後藤美喜子さんは「今回、日本伝統の二人羽織を楽しんだり、新聞紙で兜を作ったり、チラシでごみ箱を作ったりしました。どの手作業も大変喜んでもらって、私たちも嬉しく思いました。これから暑くなりますので、日々の仕事も身体に気をつけて頑張ってください」と語っていました。



「もう少し、ゆっくり食べさせてよ〜」
二人羽織も、
要はコミュニケーション！？



「兜をかぶって
はいち〜ズ！」



エコにもつながる
チラシでごみ箱作り →
← 難しい日本語も
通訳さんがいるから
大丈夫 (^o^)/



4年ぶりの開催に笑顔「親子で田植え体験！」

JA阿蘇営農部は5月13日、管内の小学生を対象に食農教育事業の一環として「親子で田植え体験！」を開催しました。当日は11世帯37人が参加して、コシヒカリの田植えを行いました。同イベントは、コロナ禍でここ数年開催できませんでしたが、行動規制の緩和に伴い4年ぶりの開催となりました。参加者らは雨の中、JA職員から田植えのやり方を教わり、1株1株丁寧に移植しました。児童らは「少し寒かったけど楽しかった」「田んぼの中は暖かくて気持ちよかった」など、土の感触を実感していました。

当日は田植え機の試乗体験や野菜選果場の見学会も行われました。昼食では阿蘇産野菜やあか牛肉のバーベキューがあり、参加者からは「とても美味しかった」「農業体験ができて楽しかった」「次回も開催があればまた参加したい」などの感想が聞かれました。JA阿蘇の園田真治職員は「4年ぶりのイベントで参加者が集まるか不安だったが、多くの方に参加していただき良かった。次は9月に稲刈りのイベントを開催するので、是非多くの親子に参加してもらいたい」と抱負を語っていました。



写真はいずれも「親子で田植え体験！」イベントの様子

「JA阿蘇きらり★」

阿蘇の魅力をもっと発信したい！

阿蘇町中央支所金融課金融係

倉岡 くらおか
未有 みゆ



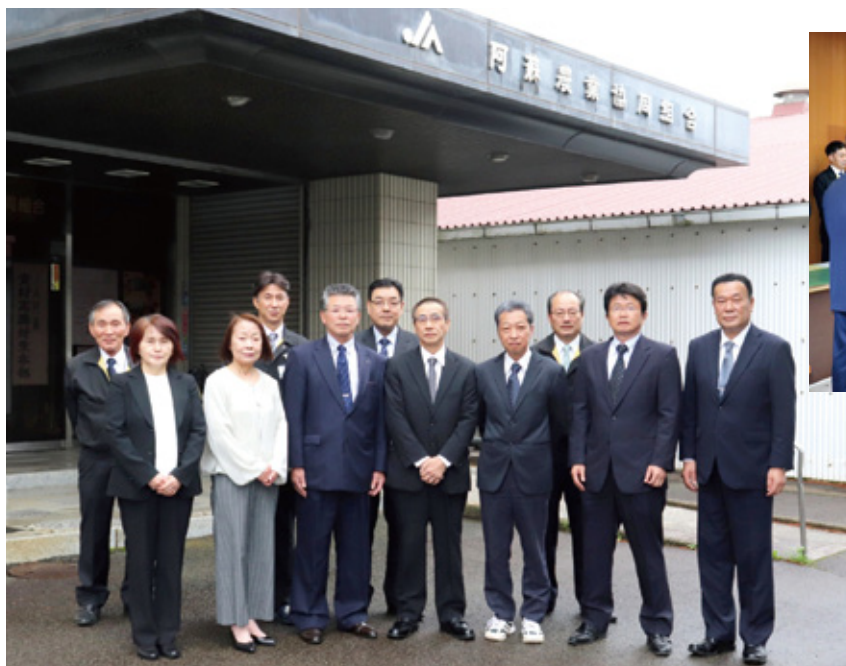
★趣味

ドライブと食べることです。美味しいものを探して聞いて、休日に食べに行きます。今年は運動を取り入れながら、行きたいと思っています！

★一言コメント

入組して1年がたちました。まだまだ至らない点が多くありますが、上司や先輩、組合員・利用者様のおかげで楽しく充実した日々を送らせていただいています。明るく笑顔で日々精進をモットーに今後も頑張っていけますので、よろしくお願い致します。そして阿蘇の魅力をもっとたくさんの方に発信していきたいと思っています。

「永きにわたりご苦勞様でした」令和4年度 退職者表彰式を行う



↑ 退職者表彰式の様子

← 3月末で退職された方々と役職員



JA阿蘇は4月7日、令和5年3月31日付けで定年退職された7名の退職者表彰式を本所で行いました。入組して25年を超えて勤めあげた7名の方々に原山寅雄組合長から感謝状と記念品が贈られ、永きにわたりJA職員として組合運営に貢献されたことへの功績を称え、心より感謝の意を伝えました。

表彰された後藤浩幸さんは「長年にわたりお世話になりました。これまでいろいろなこともありましたが、定年まで勤めてこられたのは皆さん方に支えてもらったおかげだと感謝しています。これからは一組合員としてJA阿蘇を応援していきます」と話していました。

JA阿蘇「共に助け合って厳しい情勢を乗り越えよう」

「全体職員事業推進大会」開催
事業基本方針6項目を確認

J A 阿蘇は5月20日、阿蘇市体育館で令和5年度全体職員事業推進大会を開きました。大会では社会保険労務士法人上田事務所副所長の大野佳子先生による「労働時間の管理について」の特別講演も行われ、労働時間管理の徹底を全職員に呼びかけました。



挨拶をする原山組合長



大会会場の様子



講演を行う大野佳子先生

J A 阿蘇は昨年度、営農経済プロジェクトによる収支改善やT A Cの取り組みなどを行い、全国各地から視察があり多くの注目を集めています。



職員資格認定試験合格者の表彰

そのことを踏まえ、原山寅雄組合長は「現在、J A 阿蘇は全国から注目を浴びているという自負をもって日々業務に励んでほしい。未だ資材価格高騰など厳しい情勢が続いているが、厳しいときだからこそ農協の原点『相互扶助』に還り、役職員全員で共に助け合つてこの苦難を乗り越えよう」と激励しました。



レポート発表の後藤大職員

大会では、職員資格認定試験合格者表彰のほか、令和4年度未来塾修了レポートとしてまとめた阿蘇南中央支所の後藤大職員による旅行キャンペーンをターゲットに、阿蘇農畜産物の消費拡大を狙った新しいサービス案「まるごと阿蘇バーベキューセット販売」のプレゼンテーションや、中部営農センター橋本雅貴職員によるT A C 海外研修報告として、ドイツ国内各地を視察した営農事例などの紹介をしました。

その後、令和5年度の事業基本方針6項目を確認。最後は事業推進目標の早期達成に向けて全職員による「頑張ろう三唱」を行い、団結を固めました。



TAC発表の橋本雅貴職員



事業推進目標の早期達成に向けて「頑張ろう三唱」

JA阿蘇 イラスト違い探し「草千里」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題:イラストレーター みやた みゆき)



イラスト違い探し「草千里」応募方法

上のイラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で5名様に

ひばり工房「阿蘇手造りソーセージ・ベーコン・ハムセット」(写真=イメージ)をプレゼントします。応募締め切りは令和5年7月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「お花見」答えとプレゼント当選者4名様



＝答え＝

- ① 左上のたんぽぽ
- ② 女の子が持っている花
- ③ 鳥の顔の向き
- ④ 弁当のおにぎり
- ⑤ 犬の頭の花びら



菊池キヨミ様 (一の宮町)
安達佐代子様 (小国町)
古澤 和代様 (南阿蘇村)
梅野富美子様 (熊本市)

ハガキ (表)

〒869-2612

阿蘇市一の宮町官地387-5

JA阿蘇 総務部

「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他

理 事 会 ・ 監 事 会 報 告

■令和5年度第1回理事会

日時 令和5年4月20日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会、総務専門委員会)

3月末実績報告について

- 1) 役員改選の手續きについて
- 2) 令和5年度区域全域の役員推薦選考委員の選出について
- 3) 総代選挙手續きについて
- 4) 令和5年度総代選挙管理者・立会人名簿(案)について
- 5) 令和5年度固定資産取得計画(案)について
- 6) 税効果会計における事業損益5ヵ年計画について
- 7) 令和4年度固定資産減損損失見込額について
- 8) 常例検査回答書(案)第1回目について
- 9) 余裕金運用規程の一部改正について(案)
- 10) 「JAバンク基本方針」変更にかかる総代会報告について(案)
- 11) 令和5年度産米出荷契約金設定について(案)
- 12) 令和5年度家畜導入事業計画及び貸付利息(案)について
- 13) 個人情報保護及び情報セキュリティ体制について(案)
- 14) 宅地等供給事業実施規程の変更について(案)
- 15) 貸出金について
- 16) 総務部・事務電算室の機構改革について(案)
- 17) 職制規程および職務権限表の改正について(案)

報告事項

- 1) 地公体貸出について
 - 2) 令和4年度下期理事会附議実行報告
 - 3) 不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書
(令和5年1月～令和5年3月)について
 - 4) 令和4年度固定資産取得実績報告について(500～1,000万円)
 - 5) マネロン・反社等への対応状況について(四半期報告)
 - 6) 事務ミス等の発生状況について(半期報告)
 - 7) ATM利用状況について(3月末)
 - 8) 令和5年ゴールデンウィークの営業について(金融・購買)
 - 9) 令和5年度購買推進ポイントについて
 - 10) 令和4年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの
進捗状況(R5年3月末)報告について
 - 11) 自主検査結果報告(令和5年2月)について
4. 閉会

■令和5年度第2回理事会

日時 令和5年4月26日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会)

- 1) 令和4年度資産査定結果について
- 2) 第22回通常総代会提出議案について
(第22回通常総代会資料にて) ➡

3) 令和4年度事業報告及び関連事項について

4) 令和4年度事業計画及び関連事項について

報告事項

- 1) JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針について
4. 閉会

●令和5年度第1回監事会

日時 令和5年4月10日午後1時30分

場所 本所2階第一会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題

- 1) 令和4年度導入家畜等棚卸監査回答書について
- 2) 令和4年度決算棚卸監事監査取りまとめについて
- 3) 令和4年度決算監事監査手續きについて
- 4) 令和4年度熊本県常例検査回答書に対する監事の意見について

報告事項

- ① 常勤監事業務及び会議等報告について
- ② 不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書について
(令和5年1月～令和5年3月)
- ③ 行事予定について

4. 閉会

●令和5年度第2回監事会

日時 令和5年5月19日午後1時

場所 本所2階第一会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題

- 1) 令和4年度決算監事監査取りまとめ(案)について

報告事項

- ① みのり監査法人
第22期監査結果概要報告書及び品質管理レビュー等について
(令和5年5月19日現在)

4. 閉会

●令和5年度第3回監事会

日時 令和5年5月23日午前11時

場所 本所2階第一会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題

- 1) 令和4年度決算監事監査取りまとめ(案)について
- 2) 監事の選任議案に対する同意依頼について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ② 行事予定について

4. 閉会

● ● ● JA阿蘇職員異動のお知らせ (令和5年4月10日辞令) ● ● ●

氏 名	新 辞 令	旧 辞 令
小林 勝人	監査室監査課監査係	高森支所購買課高森給油所長
後藤 和彦	高森支所購買課高森給油所長	阿蘇南中央支所購買課久木野給油所係
古澤 時矢	阿蘇南中央支所購買課久木野給油所係	高森支所購買課高森給油所係

あなたの農業機械 狙われています!

2022年における
全国の被害状況(※)
142件

3つの盗難防止対策

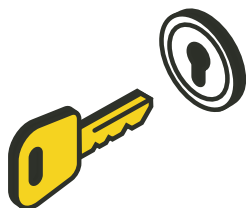
今すぐ
できる!!

POINT
01



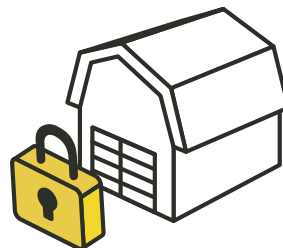
農地に置いて
帰らない

POINT
02

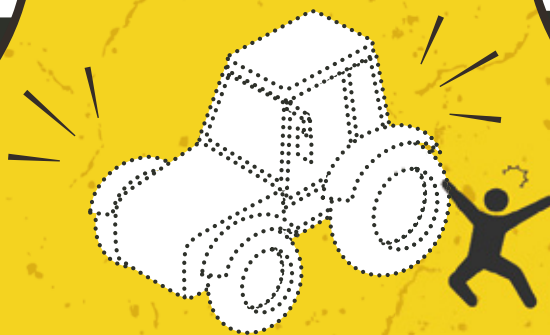


エンジンキーを
必ず抜く

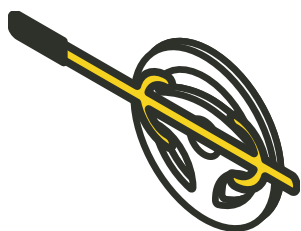
POINT
03



鍵のかかる場所
に保管



+αの盗難防止対策



ハンドルロック



チェーン・南京錠等
でタイヤをロック

できるだけ多くの対策を
講じることが有効です!!

STOP! 農業機械の盗難被害!! 営農に不可欠な機械を守りましょう!!

※ 2022年1月～12月の特殊自動車(その他)の盗難認知件数。特殊自動車(その他)とは、道路交通法施行規則第2条に規定する大型・小型特殊自動車のうち、土木・建設以外の特殊用途に必要な構造装置を備えた自動車をいう。ただし、貨物自動車に分類されるものを除く。例えば、フォークリフト、農耕作業用自動車等がこれにあたる。

農林水産省

農機盗難の被害分析

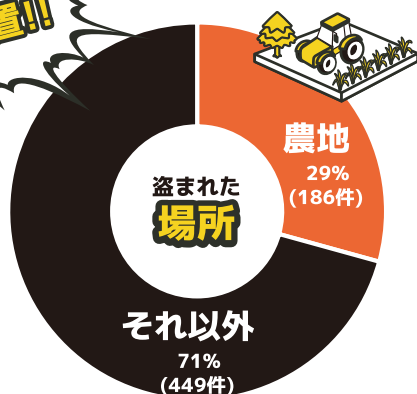


発生要因

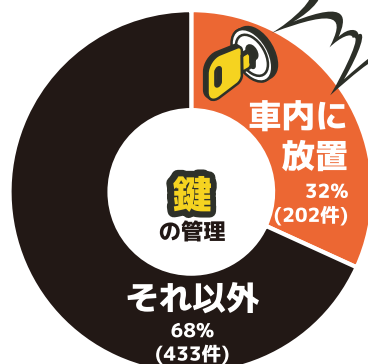
農業機械の盗難被害は…

- ① 機械が**“農地に放置”**された状態で29%
- ② 機械に**“鍵が付いた”**状態で32%も盗まれています!!

被害者の約3割は
農地に放置!!



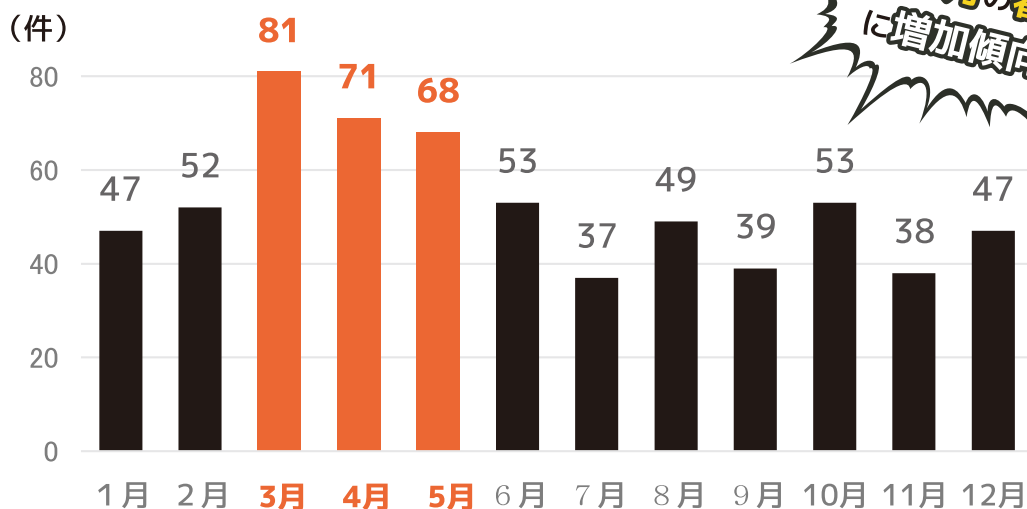
被害者の約3割は
キーを放置!!



発生時期

農業機械の盗難被害は、**3～5月に増加傾向**にあるため
春先は特に注意!

過去3年間の盗難被害件数の月別内訳



3～5月の春先
に増加傾向!

資料：警察庁の協力を得て、農林水産省にて分析。

注：「キーあり」とは、エンジンキーがイグニッションスイッチに差し込まれ、又は運転席若しくはその周辺に放置されていたもの。

STOP! 農業機械の盗難被害!! 営農に不可欠な機械を守りましょう!!

料理コンテスト 最優秀賞 「トマっぷりグラタン」 レシピ

今年3月の女性部料理コンテストで最優秀賞に輝いた長岡理恵子さん(高森支部)レシピ紹介



材料 (2人分)

- * 豆腐 200g
- * 玉ねぎ 20g
- * おろしニンニク 適量
- * 水 25cc程度
(2回に分けて入れる)
- * 赤ワイン 25cc程度
- * 完熟ミニトマト 200g
- * とろけるチーズ 20g
- * パセリ 少量

調味料

- * オリーブ油 (炒め用)
- * 顆粒コンソメ 2g
- * 砂糖 2g
- * Aコープ香りドレ 適量

「香りドレ トマトサラダ」は調味料とバジル、ローズマリー、オレガノ、マジヨラムなどのハーブミックスが一体になったシーズニングスパイスです。



作り方

- 1: 豆腐は電子レンジで熱し (キッチンペーパーで包み3分) 水分を飛ばす。玉ねぎはごく薄くスライスする。
- 2: 鍋にオリーブ油とニンニクを入れ、弱火で香りを出す。香りが立ったら水を少量入れる。
玉ねぎを焦げ目ができるくらいまで香ばしく炒め、素早く残りの水を入れて火を消し、全体をなじませる。
- 3: (2)の鍋にワインを入れて煮立ててからトマト、顆粒コンソメ、砂糖、香りドレを加えて味を整え、(1)と潰した豆腐を入れて少し煮詰める。
- 4: 耐熱容器に移してチーズをのせ、トースターやグリルで表面を焼き、パセリをふりかけて **完成**